

# だいすきおかあさん

五十嵐 いがらし  
煌 あきら

ぼくは、おかあさんがいちばんすきです。おしごとから

んなので、じゅんばんをまっています。

かえってくる、ぼくのしゅくだいをみてくれたり、やす

ぼくは、いちねんせいになって、じぶんのことは、じぶん

みのひは、いつしよにあそんでくれます。おこるととつて

ですようになっています。それから、おそうじや、ごはんの

もこわいけれど、まいにちねるときに、おかあさんのたか

じゅんぴも、おてつだいできるようになりました。おかあ

らものだよといってくれます。だからぼくは、あんしんし

さんは、おてつだいしてくれと、はやくおわるから、ぼく

てねむれます。

とのじかんがふえるねと、よろこんでくれます。ぼくも、う

でも、いもうとがうまれてからは、ぼくだけのおかあさ

れしくなります。だから、これからも、じぶんでできること

んではなくなってしまうました。いもうとはまだちいさい

をふやして、おかあさんとのじかんを、もつとつくりたい

ので、おかあさんに、いつもあまえています。ぼくもあまえ

とおもいます。

たいときもあるけれど、いもうとがないてしまうとたいへ